

川を遡る者たち 第五回

廣嶋玲子 みねおみつ 絵



〈前号のあらすじ〉

海の民に捕えられたアリューシャとコヌン。二人は、海の民の長ケイガルとその仲間たちに海の精霊ディネイの居所を問い詰められる。経緯を正直に話す、呪術で身を守る山犬たちに包囲される。しかも、山犬たちの主は、味方だとばかり思っていた忌み人。ディネイの卵を差し出したコナンは、痺れ毒を塗ったナイフで忌み人に刺されてしまう。

暗い林の中で、アリューシャは心底おびえていた。自分は縛られ、巨大な山犬に見張られている。コヌンは腹を刺されて、動けなくなってしまう。そして、コヌンを刺した忌み人は、まばたきもせずにディネイの卵を見つめているのだ。

この場にいるのは、この三人だけ。そのことがなんとも